

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 沖縄の諸制度, 沖縄復帰準備委員会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43399

鳥田(防犯施設庁長官) 屋良会社

アメリカ局
参事官
北米一課長

第 471 号
昭和 46 年 8 月 12 日

外務大臣 殿

在準備委代表事務所
高瀬 代

（件名）
島田防衛施設庁長官と屋良主席との会談

引用公・電信
日付・番号 8月7日付 往電第854号

標記 ~~会談~~ 会談記録別添送付する。

付図添付 付図空欄 (行) 付図空欄 (OP) 付図郵便 (貨) 付図郵便 (郵)

本信送付先:
本信写送付先:
省内写配布希望先:

GA-3-1 在外公館

- （処理）
- 首席事務官
- 総務
- 洋文
- 調査
- 漁業
- 航空
- 科学協力
- 連絡調整
- 調査
- その他
- 庶務



秘
無期限

秘

46.8.5 鈴木

島田防衛施設庁長官と
屋良主席との会談記録

1. 日時 8月5日 13時30分—14時50分

2. 場所 主席公社

3. 立会者 施設庁安育労務部長、銅崎津絶対策
本部長、事務局谷口次長、近藤施設企画
課長、鈴木調査官

4. 内容
屋 人事問題で二に二にしてお取かし。人事
問題は非常に難しい。25年の格差、物の
見方の違いがあり苦労する。基地等に対する
考え方にはも概微なものがあり、そのまてはく
てもと言、でも簡単にい行か存。

毒ガス問題にも関わっている。前回150トン
を片づけるのにも考えた。一つは空襲を
持たぬことが原因だと思ふ。外務省には知らぬ
間に出してしまふことがあったと話すのか。

現在半分位出ている。

昨日のレセフ・エフにも出さず失礼した。

島 今回私が戻るとの百^南分一見の如かす

というので——。あまり日時がないので充分

に見えなければ行かぬか。一通り見たい。

返還協定が88ヶ所の施設の提供か決って

いる。これについては土地問題を片付けて

行かぬはずだ。3万7千人の地主の1人1人

と契約を締結し、合意^をに達せねばならぬ。

これが大変な作業だ。境界の確認、使用条件

決定。一部返還する施設の境界の~~確認~~^{決定}

林道、電力、道路等施設外にあるものの^仕分

け等々を一つ一つ当って行く。基地の中に

ついても面積を決めたり境界を決めたり確認

する必要があるが、これも一部しかできていない。

その中でも地主との話し合いで借料を決めて

行かぬはずだ。連合会は借料を5.77倍

に押し上げようとしている。現在が軍が支払って

いる借料は34億円だ。空地、田畑、山林等

の地目につき別検討し、地主連合会と~~話し~~

~~合~~数字を一つ合せて話し合っても行か

て行く。

現在谷口次長の下に20人の職員がいるが

これだけでどうにもなるまい。人を増やし

て協議、現地確認、資料収集等を行って

行く。復帰時点では防衛施設局を設けず。
これ(土庫)にあるものについても最大の規模の
ものと思ふ。基地の周辺対策、補償問題
も解決して行くおと、復帰前にも人を増や
して行く。

労務問題については、本土と同じく復帰と
同時に日本政府が雇用し、軍に提供す
ることとする。給与その他労働条件も本土
と合せ、労働組合とも協議して行くおと
なる。間接雇用制度は国が雇って軍
に提供するか、雇入れ、労務管理、給与の
支払等の事務は果に依頼する。この左の
主務課、労務管理事務所を設けて置く。
復帰前にも人員を^も雇って給与の支払等の事務
能力をつけてもらう必要がある。当初基幹

費員30人に対して御説明をし、この方々の
沖縄に帰って他の職業の募集がある。規模
は250人とする。復帰の翌月から給与の支払
を開始する。こととする。

屋、土地関係の人数はどれぐらいか。

島 土地については施設局が直接やることとする。

銅崎施設局についても国政に廻り現職職員の分
にまわすものか。

屋 間接雇用については準備がされることとする
が局の中は置くのか。

島 労務は局と直接関係あり。

安育 琉球政府の中で政府職員にやってく

屋 現在労務局は海外労務課に11名しかいない。

これは解雇の対抗手段の支えり等をやつて

いか、その強化というところがある。

島 本土の各府県のベテランが来てやる方法も

あり。

屋 準備するにしてもどういう事になっているか。

労務局長と話しをしたら、まだ具体的に

なっていないという事があった。

安育 労務条件、給与条件の早、組合との話し

合、本土と対してCP等とすると、事務的

な取扱いは今からでも分っているの準備

は始まられるか、事前に人を集めてくる

のか難しいと聞いています。

島 労務局をけつてはどうにもならない ^{問題な} ~~給付を~~

屋 具体的にけつてもどうにも云々つかぬよう話方

どうしたらよいか、現在琉球政府は国、

県、市町村事務が錯行して、欠員

補充もできない状態が、急に補充

するのは難しい。どういう風にして行くかは

予算の問題もある。

島 総務局が関係ある。

屋 各局の人数の内訳で総務局とケンカはありて
る。総務局として各局に命令のときはどうか。
各局が困るかどうか。大変な問題になる。
人数はともかくか。

安角 復帰の時点より段階的に増員して約
250人。復帰後はそのうち行く。

屋 県は右の段階で行動させる。復帰前の
250人という^は大変な。

安 基幹委員は手をつたえと聞いている。その後の
新り振りを早目にお願いしたい。

屋 ものすこしケンカになる。

島 今の分でも沖縄関係の定員は全部で45名
しか認められていない。しかし来月からでも
大幅に増員したいと思っている。このため本土
の仕事の能率が下がることもおそれる。

屋 他局から人員を廻して今の問題をどう消化
して行くかの問題だ。

島 主席の御配慮をお願いしたい。

屋 県はこれほど早く、各局の仕事が減っていく
というのをどう別な。

島 総研修の段階での全員も必ずしもハリフケ
に必ずしも必要でもない。仕事として一定時間
研修を受けるという方針もある。

実質 可能な限り、しかし、この事について身が入ら
ないか。ハリフケが望ましい。

屋 給与体系の変更についてはどうするか。

島 早急な年例と交渉をやる。

屋 沖縄には基地に対する強い反対がある。

困った問題は基地を発生してはどうか。

例として、昔から、労働者の解雇問題等、必要以上

に悩まされてきた。一方では基地依存を消

の問題もある。

島 二つの問題の程度の違いがあるが本土にもある。

例として三沢。

屋 同じ基地といっても本土と性能、程度が
違う。日本の憲法及びこの国に外国の軍隊
がない。争いを覚められる。

核放棄の件を取ってやってみよう。

島 現実を直視して調整をお願いしたい。

屋 間接雇用にしてもそれ以外に道はないという

ことは理解している。よく皆に理解せしめる必要

がある。後帰という政治的な問題は解決

してもそれに伴う内容がある。右と之は
 復元補償の内容、土地が返って来ても直ぐは
 生活に結びつかない。返すための何事もなし。
 沖縄の将来の開発にも農業用地も考
 えての急には何もできず、基地が変化する
 了らぬに大きな影響を受ける。

請求権の問題も同様に言えるか
 何とかして貰わねばならぬ。
 土地問題も米軍が撤収前の地目と終戦
 を以てしたとの不満がある。

谷口 本土では用込の開発状況により、地目山林
 があったり空地並みの終戦を以てした。

島 管轄問題は今後と話し合ひを続けていく事。
 GA-4 外務省

主席の力で何とか。
 給与条件、労働条件はそれぞれと米軍、全
 軍等とマツクので迷惑は及ばない等々。
 後の事務進捗をよしくお願いしたい。
 事務的に今後米労働局と相談に行きたい。

尾 二れは大事に内容下、基地労働者の不安感
 を与えたりするのは重要だ。
 3種、4種の問題のほうか。

安角 3種はいいと聞いている。4種か多し。今後の
 問題だ。

島 土地の問題はいつか土地建と下るか。全席
 の側面からの援助を待たい。
 GA-4 外務省

屋 組織的運動体が基地の契約に反対して
 いる動きもある。私としては實際にあり
 ても反対すればよいかと云う所を
 考へる。昔から内題も阻止するところ。
 責任の重い責任を痛感している。

島 二ホカラ 2.3年か大事か。

屋 私も含めて引いたと思う。好むと好まぬ
 にかかわる事実の事案としてどう乗り切
 るか大事か。しかしありやよと又や
 れる。(笑) 困難に思ふかや行か
 るけれども。

島 10月日ランネットさんと会った。土地、労務

の内題を彼も心配している。彼も全向的
 協力を約束してくれた。とにかく残された内
 容が。

屋 彼ら...人が。どういふ時期大かすちの上る
 人をよしのたと思ふ。

(3)